



2015年11月4日

各 位

会 社 名 サントリー食品インターナショナル株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 鳥 井 信 宏
(コード番号：2587 東証一部)
問 合 せ 先 コーポレートコミュニケーション部長
安 井 信 裕
(TEL.03-3275-7022)

特別利益（段階取得に係る差益）及び 減損損失の計上に関するお知らせ

当社は、2015年12月期第3四半期決算（連結）において、特別利益（段階取得に係る差益）を計上するとともに、減損損失を計上しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別利益（段階取得に係る差益）の計上について

当社は2015年7月31日付で、日本たばこ産業株式会社の飲料自動販売機オペレーター事業子会社である株式会社ジャパンビバレッジホールディングス（以下、「JB社」）の株式を取得し（以下、「本件取得」）、連結子会社としました。これに伴い、当社子会社が本件取得以前より保有するJB社の株式を再評価したことによる評価差益（段階取得に係る差益）157億円を特別利益に計上しました。

2. 減損損失の計上について

当社は、2011年にインドネシアの食品・飲料企業「ガルーダフードグループ」と合弁会社PT SUNTORY GARUDA BEVERAGEを設立し、インドネシアで清涼飲料の製造・販売を行っています。

近年、インドネシアにおける経済の成長や飲料市場の拡大が当社の当初見込みに届かず、同国での足元の業績は、当初策定した計画を下回って推移していることから、事業計画及び資産価値を厳密に見直しました。その結果、インドネシアの子会社に係るのれん等の減損損失97億円を特別損失に、関連会社に係る減損損失58億円を持分法による投資損失として営業外費用に計上しました。

なお、インドネシアの飲料市場は今後も成長が見込まれる市場であり、新たな事業計画に基づき、早期の収益改善を目指してまいります。

3. 業績への影響

特別利益（段階取得に係る差益）と減損損失を合わせた 2015 年 12 月期の当社連結業績への影響は軽微です。なお、2015 年 12 月期通期の連結業績予想につきましては、2015 年 11 月 4 日付「平成 27 年 12 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載しております。

以 上